

# 教科指導

## 国語科

### 1. 指導目標と留意点

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、物の本質をとらえる力、人間の生き方を考える力を身につけさせたい。
話すこと・聞くこと……自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取らせたい。
書くこと……自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、相手や目的に応じ、筋道をたてて、適切に文章を書かせたい。
読むこと……目的に応じてさまざまな文章を的確に読み、読書に親しませる。
言語事項……表現と理解に役立てるための音声と語句・語彙・文法・漢字について理解し、知識を身につけさせたい。
書写では文字を正しく整えて丁寧に、しかも速く書く指導をしたい。

### 2. 指導計画

		1 年	2 年	3 年
1 学	4 月	言葉に出会うために ・詩の学習	さまざまな文章にふれ言葉の豊かさに気づく ・詩の学習 ・物語の学習 ・古文の学習	表現の豊かさを味わい生き方を考える ・詩の学習 ・古文の学習 ・小説の学習
	5 月	いろいろな言葉にふれながら学習の見通しをもつ ・小説の学習 ・説明文の学習		
	6 月	豊かな表現にふれ言葉のもつ力を考える ・随筆の学習	構成を捉え説明の工夫を考える ・説明文の学習 単語の分類をしよう ・自立語の学習（文法） 用語を活用しよう ・動詞、形容詞、形容動詞の活用についての学習（文法）	さまざまな表現を捉えものの見方を深める ・説明文の学習
	7 月	言葉のまとまりを考えよう ・文法、文節と文節の働きの学習	用語を活用しよう ・動詞、形容詞、形容動詞の活用についての学習（文法）	言葉と心のつながりを考える ・俳句の学習 ・小説の学習
2 学	9 月	文章の展開に着目して心情や事実をとらえる ・小説の学習 言葉の関係を考えよう ・文節どうしの関係の学習 古典の文章に出会い現代とのつながりを考える	表現を味わい言葉の世界を広げる ・短歌の学習 敬語を使おう ・敬語の学習（文法）	状況を捉え人の生きる姿や社会について考えを深める ・小説の学習 ・詩の学習
	10 月	・古文の学習① ・故事成語の学習 ・漢文の学習 ・古文の学習②	さまざまな関係を捉え考えを深める ・随筆の学習 ・論説文の学習 付属語について知ろう ・付属語の学習（文法）	作品の背景を想像して読み古典の心を今に生かす ・古文の学習
	11 月			対象を評価しながら自分の考えを深める ・論説の学習 ・話し合いの学習 ・詩の学習
	12 月		昔の人のものの見方や考え方にふれ古典に親しむ ・古文の学習 ・漢文の学習	
3 期	1 月	作品や生活と向かい合いながら、ものの見方を深める ・小説の学習	根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶ ・評論文の学習	言葉と心について考えを深め今までとこれからを考える ・論説の学習 ・詩の学習
	2 月	事実と意見の関係に注意しながら内容を考える ・説明文の学習 ・記録、報告文の学習	多様な表現にふれ自分の経験と重ねながら理解を深める ・小説の学習 ・論説文の学習	学習のまとめをし、自分の進路開拓をに生かす
	3 月	単語の性質を考えよう ・文法、品詞の学習		

# 社 会 科

## 1. 指導目標と留意点

- ・ 公民的資質を養うため、社会現象に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得させる。また、それらを活用して課題を解決するために、必要な思考力・判断力・表現力を育成する。
- ・ 各分野の特質に応じ、習得すべき基礎的・基本的な知識・概念の明確化をはかり、内容を精選する。
- ・ 生徒の思考力・判断力・表現力をはぐくむ観点から、学習活動においては言語活動の充実や ICT の利用など指導法の工夫をはかる
- ・ 人権・同和問題と関わる内容・教材については、他との連携をはかりながら進めていく。

## 2. 指導計画

月	1 年	2 年	3 年
4	《地理》 第1編 第1章 世界のすがた	《地理》 第2編 第3章 日本の諸地域	第6章 二度の大戦と日本
5	第2章 世界各地の人々の生活と環境		第7章 現代の日本と世界
6	第3章 世界の諸地域 第4章 世界の様々な地域の調査	《歴史》 第1章 歴史のとらえ方 第2章 古代までの日本	
7			《公民》 第1章 わたしたちの生活と現代社会
9	第2編 第1章 日本のすがた	第3章 中世の日本	第2章 人間の尊重と日本国憲法
10	第2章 世界と比べた日本の地域的特色		第3章 現代の民主政治と社会
11		第4章 近世の日本	第4章 わたしたちのくらしと経済
12			第5章 地球社会とわたしたち
1	《歴史》 第1編 歴史のとらえ方 第2編 古代までの日本	第5章 開国と近代日本の歩み	終章 よりよい社会をめざして
2			
3			

# 数 学 科

## 1. 指導目標と留意点

一 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の範囲を拡張して、計算の可能性を広げ、数についての処理が手際よくできるようにする。</li> <li>・文字を使って数量の関係を一般的に表したり、計算法則を簡潔に表す。文字を用いることの意義や必要性に気づく。式を計算することを通して文字の式を利用するための基礎的な処理の方法を身につける。</li> <li>・文字を含む等式から文字の値を求める方法を理解し用いることによって、実際の問題が形式的・能率的に処理できることを知り、活用できるようにする。</li> <li>・具体的な事象の中から、ともなうて変わる数量を見出し、その変化と対応のようすを捉え、比例と反比例が理解できるようにする。</li> <li>・いろいろな平面図形について、基礎的な知識・技能を習得してそれを活用する能力を伸ばす。</li> <li>・空間図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、空間図形の性質について論理的に考察する能力を高める。また、立体図形の計量についての能力を伸ばす。</li> <li>・集団事象について、目的に応じて資料を収集し表やグラフに整理し、その資料の傾向を読み取る能力を伸ばすとともに、数の表現に関する理解を深める。</li> </ul>
二 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いた式を活用することの良さを実感し、それを用いて数量や数量間の関係を的確に表現し、説明しようとする能力や態度を養う。また、いくつかの文字を含む四則計算ができるようにする。</li> <li>・連立一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。</li> <li>・変化や対応についての見方・考え方やいっそう深めるとともに、事象の中から一次関数を見出しそれを用いることができるようにする。</li> <li>・図形の性質を調べる上で基礎となる見方・考え方や基本的性質を観察、操作や実験などの活動を通して明らかにし、論証の意義と推論の進め方について理解する。</li> <li>・平行線についての性質や三角形の合同条件を根拠にして三角形や四角形の性質を調べ、それらを活用することができるようにする。また、これらを通して図形の論証に対して興味・関心を持ち、筋道を立てて考えようとする態度を身につける。</li> <li>・不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して確率について理解し、それを用いて考察し表現することができるようにする。</li> </ul>
三 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。</li> <li>・数の平方根について理解し、数の概念の理解を一層深めるとともに、数を用いてものごとを広く深く考察し表現することができるようにする。</li> <li>・二次方程式やその解法について理解し、二次方程式を解いたり、二次方程式を用いて実際の問題を解決したり考察したりすることができるようにする。</li> <li>・具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、表・グラフ・式を使ってそれらの変化や対応のようすを調べることを通して、関数 <math>y = a x^2</math> について理解する。また、具体的な事象の中から関数関係を見出し表現し考察することができるようにする。</li> <li>・図形の相似の概念を明らかにし、三角形の相似条件などを基にして図形の性質を確かめ、論理的に考察し表現する力を伸ばすとともに、相似の考えが活用できるようにする。</li> <li>・観察や操作・実験などの活動を通して円周角と中心角の関係を見出して理解し、それを用いて論理的に考察し表現できるようにする。</li> <li>・観察や操作・実験などの活動を通して三平方の定理を見出して理解し、それを用いて考察したり活用したりできるようにする。</li> <li>・コンピュータを用いたりするなどして母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで母集団の傾向が読み取れることを理解するとともに、その考えを活用できるようにする。</li> </ul>

## 2. 指導計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	正の数・負の数	式の計算	展開と因数分解
5 月 6 月		連立方程式	
7 月	文字の式	一次関数	平方根
9 月			二次方程式
10 月	方程式	図形の調べ方	関数 $y = a x^2$
11 月	変化と対応		図形と相似
12 月	平面図形	図形の性質と証明	円の性質
1 月	空間図形		
2 月	資料の活用	確率	三平方の定理
3 月			標本調査

# 理科

## 1. 指導目標

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的自然観の基礎を養う</li> <li>・植物の学習による生物観の基礎</li> <li>・物質の物理的変化による原子論的物質観の基礎</li> <li>・物体の物理的変化による光学・振動・力学法則の基礎</li> <li>・固体地球の現象による地球観の形成</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的自然観の基礎を培う</li> <li>・物体の電氣的性質と磁界概念の導入による電気法則と磁場の概念の基礎</li> <li>・動物の学習による生物観の基礎</li> <li>・大気現象の学習による地球観の形成</li> <li>・物質の化学変化による原子論的物質観の形成</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的自然観を発展させる</li> <li>・細胞概念による科学的生物観の発展</li> <li>・エネルギー概念の導入による自然現象の統一的な見方への発展</li> <li>・地球の運動の学習による宇宙観の形成と発展</li> <li>・自然環境、科学技術の現在の課題から科学による将来の見通しを形成</li> </ul>

## 2. 指導計画

	1年	2年	3年
4月	植物のくらしとなかま 1章 花のつくりとはたらき	生きるために 1章 生物の体と細胞 2章 生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ 4章 動物のなかま 5章 生物の移り変わりと進化	つながる生命 1章 生物の成長  2章 生物のふえ方と遺伝
5月	2章 根や茎のつくりとはたらき 3章 葉のつくりとはたらき 4章 植物のなかま分け	力だめし	いろいろな細胞の源－幹細胞 力だめし
6月	力だめし	ひろがる動物の世界 ～未知の動物をさがす～	果物でモーターが回る 1章 水溶液とイオン
7月	光・音・力による現象 1章 光による現象	銀をつくる粒子 1章 物質の成り立ち 2章 物質を表す記号 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	2章 酸・アルカリと塩 細胞内ではたらくイオン 力だめし
9月	2章 音による現象 3章 力による現象 光・音・力と科学技術 力だめし	力だめし(1)	どのようなとき運動がはじまるのだろうか 1章 力のつりあいと合成・分解 2章 力と物体の運動 3章 仕事とエネルギー
10月	活きている地球	原子番号 113 番、日本発の元素	4章 いろいろなエネルギーと その移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用 多様なエネルギーを求めて 力だめし
11月	1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく	～電流の道すじ 1章 電流の性質 2章 電流の正体	
12月	3章 大地は語る 堆積物から過去の津波にせまる 力だめし	3章 電流と磁界 力だめし	宇宙の謎を追って 1章 地球の運動と天体の動き 2章 太陽系の天体 3章 恒星の世界 宇宙からの光、それはタイムカプセル 力だめし
1月	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質	電気の利用と医療器具の進歩	
2月	2章 いろいろな気体とその性質	ダイナミックな霧「肱川あらし」 1章 空気中の水の変化 2章 天気の変化と大気の動き 3章 大気の動きと日本の四季	かかわり合う自然 1章 自然界のつりあい 2章 人間と環境 3章 自然と人間のかかわり 4章 科学技術と人間 5章 科学技術の利用と環境保全 かけがえない地球のために 力だめし
3月	3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化 力だめし	力だめし 局地的大雨から身を守る	

# 音 楽 科

## 1. 指導目標と留意点

1年	<p>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取らせると共に発声や楽器の扱い、読譜力などの基礎的な表現の技能を身につけ創造的に表現する能力を育む。</p> <p>○様々な分野の音楽に親しみ音楽を進んで表現し鑑賞し音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。</p>
2年	<p>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取らせると共に発声や楽器の扱い、読譜力などの基礎的な表現の技能を伸ばし創造的に表現する能力を高める。</p>
3年	<p>○我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽の特徴などが背景となる文化・歴史に関わらせて総合的に理解していく。</p> <p>○活動を通して音楽性を伸ばすと共に音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て生涯にわたって音楽に親しもうとする態度を育てる。</p>

## 2. 指導計画

	1 年	2 年	3 年
4	基本的な発声 校歌	発声の練習 和楽器演奏(しの笛)	発声の練習 和楽器演奏(しの笛)
5	斉唱曲 アルトリコーダーの基礎	日本の歌曲 混声二・三部合唱 和楽器演奏(しの笛)	日本の歌曲 混声二・三部合唱 和楽器演奏(しの笛)
6	リズムの基礎 アルトリコーダーの奏	世界の歌曲 和楽器演奏(しの笛)	世界の歌曲 和楽器演奏(しの笛)
7	鑑賞	鑑賞	鑑賞
9	混声二部合唱	混声三部合唱	混声三部合唱
10	混声三部合唱		
11	鑑賞 アルトリコーダーの奏	鑑賞 和楽器演奏(しの笛)	鑑賞 和楽器演奏(しの笛)
12	卒業の歌への取り組み	卒業の歌への取り組み	卒業の歌への取り組み
1	和楽器演奏(箏) 一年間のまとめ	一年間のまとめ	
2			
3			

# 美術科

## 1. 教科目標と各学年の目標

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
1年	<p>(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。</p> <p>(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。</p> <p>(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。</p>
2・3年	<p>(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>(2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>(3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>

## 2. 指導計画

	1年	2年	3年
1学期	美術について (ガイダンス) 鑑賞1 (これすき!) ・色えんぴつの練習 スケッチ・水彩の基礎	この作品のここがいい! 1 自分を漢字1字で表すとこんなかんじ ・レタリングの基礎 ・モダンテクニックの基礎 ・鑑賞 (完成した作品より)	この作品のここがいい! 1 焼き物について2 ・さまざまな制作方法を知る ・完成予想を図に描く ・制作 ・鑑賞 (完成した作品より)
2学期	焼き物について1 ・板づくりについて ・完成予想を図に描く ・制作 ・鑑賞 (完成した作品より)	木目込み ・日本の伝統を知る ・テーマ・デザイン化を決める ・鑑賞 (完成した作品より)	15才のわたし ・ポスターカラー的な絵の具の使い方 ・「自分」のイメージを広げる ・鑑賞 (完成した作品より)
3学期	色の整理 ・12色相環 色面構成 ・美の秩序について 美術ファイル作り ・1年間を振り返って	多版多色版画 ・抽象の形の面白さを知る ・形や色の組み合わせを考える ・鑑賞 (完成作品より) 美術ファイルの整理 ・2年生を振り返って	切り絵 ・3年間を振り返って自分の象徴するようなマークや言葉を考える 美術ファイルの整理 ・3年生を振り返って

# 保健体育科

## 1. 指導目標と留意点

- 運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、運動に親しむ習慣を育てるとともに健康の保持増進のための実践力と体力の向上を図り、明るく豊かな生活態度を育てる。
- ・ 基礎的な知識技術を習得させる。
  - ・ 自己の健康・体力の状況を認識させる。
  - ・ 道徳教育との関連を図り、道徳性を身につけさせる。

平成29年度 保健体育科 年間授業計画																	
学年	学期	1学期						2学期									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	男子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		待つくり	陸上競技 短距離・リレー	陸上競技 マラソン	水泳	ダンス	剣道	バレーボール	柔道	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	ソフトボール	ソフトボール	サッカー	
		体育理論・保健・心身の発達と心の健康															
1	女子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		待つくり	陸上競技 マラソン	陸上競技 短距離・リレー	水泳	剣道	ダンス	ソフトボール	柔道	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バスケットボール	バスケットボール	ソフトテニス	
		体育理論・保健・心身の発達と心の健康															
2	男子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		待つくり	陸上競技 短距離・中距離・長距離	陸上競技 マラソン・飛び込み	水泳	ソフトボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	サッカー							
		体育理論・保健・心身の発達と心の健康															
2	女子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		待つくり	陸上競技 短距離・中距離・長距離	陸上競技 マラソン・飛び込み	水泳	バレーボール	バレーボール	ソフトボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バスケットボール	バスケットボール	ソフトテニス
		体育理論・保健・心身の発達と心の健康															
3	男子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		待つくり	陸上競技 短距離・中距離・長距離	陸上競技 マラソン・飛び込み	水泳	ソフトボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール	バレーボール							
		体育理論・保健・心身の発達と心の健康															
3	女子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		待つくり	陸上競技 短距離・中距離・長距離	陸上競技 マラソン・飛び込み	水泳	ダンス	ソフトボール	バレーボール	バスケットボール	バスケットボール	ソフトテニス						
		体育理論・保健・心身の発達と心の健康															
学年行事		体育大会(5月)															
学年行事		マラソン大会(11月)															

## 技術・家庭科

指導要領に示された技術・家庭科の目標

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し想像する能力と実践的な態度を育てる。

### 技術分野

#### 1. 技術分野の目標

実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工に関する技術やエネルギー変換に関する技術、生物育成に関する技術および情報に関する技術等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

#### 2. 指導計画

	1 年	2 年	3 年
4 月	1. 生活とコンピュータの関わりを考えよう。 ・コンビニエンスストアのPOS システムの例でコンピュータがどのように活躍しているかを考えてみよう。	1. ものをつくる技術について考えよう。	1. ものをつくる技術について考えよう。
5 月		2. 材料の使われ方を調べよう。	2. 材料の使われ方を調べよう。
6 月	2. コンピュータ活用の計画を立てよう。	3. つくりたいものを考え、構想をまとめよう。	3. 材料を加工して部品にしよう。+安全指導
7 月	・身近な問題の解決のためにコンピュータを使ってできることを考えてみよう。	・自分の部屋や机の上をスケッチさせ、どうすればもっと使いやすくなるのか話し合わせる。	4. 部品を組み立てて仕上げよう。
9 月	3. 情報を収集しよう。 ・テーマを解決するために必要な情報を収集してみよう。	・目的とする機能を考え、適した材料を選ぼう。	5. 生物育成に関する知識を身につけよう。
10 月	4. 目的に合ったソフトウェアで情報を処理してみよう。	4. 材料を加工して部品にしよう。+安全指導	・作物の栽培について考えよう。
11 月	・目的に応じたソフトウェアを選択し、情報を処理してみよう。	・製作に用いる基本材料を提示し、各自の改善アイデアの中から実現可能なものに絞り込ませる。	・動物の飼育について考えよう。
12 月	5. 情報を発信するにはどんな方法があるか調べてみよう。	5. 部品を組み立てて仕上げよう。	・水産生物の栽培について考えよう。
1 月	6. 情報モラルのある快適な生活を工夫しよう。	6. これからの生活と技術について考えよう。	6. マルチメディアを利用して作品をつくろう。
2 月	・集めた情報の著作権はどうなっているかを確かめてみよう。	7. 学習を終わって。	7. 学習を終わって。
3 月	7. 学習を終わって。		

## 家庭分野

### 1. 家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

### 2. 指導計画

月	1 年	2 年	3 年
4	ガイダンス A (1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。 ア 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて考えること。	C (1) 衣服の選択と手入れについて、次の事項を指導する。 ア 衣服と社会生活との関わりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。 イ 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができること。 ウ 衣服材料や状態に応じた日常着の手入れができること。	A (1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。 ア 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて考えること。
5	B (1) 中学生の食生活と栄養について、次の事項を指導する。 ア 自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康に良い食習慣について考えること。	ウ 衣服材料や状態に応じた日常着の手入れができること。	A (3) 幼児の生活と家族について、次の事項を指導する。 ア 幼児の発達と生活の徳地用を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。
6	イ 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考えること。	C (2) 住居の機能と住まい方について、次の事項を指導する。 ア 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について考える。 イ 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること。	イ 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解すること。 ウ 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、関わり方を工夫できること。
7			
9	B (2) 日常食の献立と食品の選び方について、次の事項を指導する。 ア 食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知ること。	C (3) 衣生活、住生活などの生活の工夫について、次の事項を指導する。 ア 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること。	A (2) 家庭と家族関係について、次の事項を指導する。 ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域との関わりについて理解すること。 イ これからの自分と家族との関わりに関心を持ち、家族関係をより良くする方法を考えること。
10	イ 中学生の1日分の献立を考えること。		
11	ウ 食品の品質を見分け、用途に応じて選択できること。	イ 衣服または住まいに関心を持ち、課題を持って衣生活または住生活について工夫し、計画を立てて実践できること。	A (3) 幼児の生活と家族について、次の事項を指導する。 エ 家族または幼児の生活に関心を持ち、課題を持って家族関係または幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できること。
12	B (3) 日常食の調理と地域の食生活について、次の事項を指導する。 ア 基本的な日常食の調理ができること。また、安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができること。	D (1) 家庭生活と消費について、次の事項を指導する。 ア 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。 イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入および活用ができること。	
1	イ 地域の食材を生かすなどの調理を通じて、地域の食文化について理解すること。		
2	ウ 食生活に関心を持ち、課題を持って日常食または地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できること。	D (2) 家庭生活と環境について、次の事項を指導する。 ア 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できること。	
3			

# 英 語 科

## 1. 教科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。

各学年の目標

1年	<p>身近で簡単なことについて話される英語を聞いて理解し、初歩的な英語を用いて身近で簡単なことについて話すことができ、書かれた初歩的な英語を読んで理解できるようにし、書けるようにする。</p> <p>また、英語を聞いたり話したり、読んだりすることに親しみ、英語に対する興味を育てる。</p>
2年	<p>初歩的な英語の文や文章を聞いて話し手の意向などを理解したり、初歩的な英語の文や文章を用いて自分の考えなどを話すことができ、読んで書き手の意向などを理解し、自分の考えなどを書くことができるようにする。</p> <p>また、英語を聞いたり話したり、読んだり書いたりすることに慣れ、英語に対する意欲を育てる。</p>
3年	<p>「聞くこと」に重点を置き、リスニング能力を高め、コミュニケーションの力を身につける。初歩的な英語の文章を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。</p> <p>また、英語を聞いたり話したり、読んだり書いたりすることに積極的な態度を育てる。</p>

## 2. 指導計画

	1年	2年	3年
4月	Hi,English! Unit 0 アルファベット	Unit 0 My spring Vacation	Unit 0 Countries around the World
5月	Penmanship Unit 1 はじめまして Unit 2 学校で	Unit 1 A Friend in a Sister School Daily Scene 1 日記 Unit 2 A Trio to the U.K. Daily Scene 2 ていねいをお願い	Unit 1 Pop Culture Then and Now Daily Scene 1 食事の会話 Presentation 1 日本文化紹介
6月	Unit 3 わたしの好きなこと Unit 4 ホームパーティー	Unit 3 Career Day Daily Scene 3 メール	Unit 2 From the Other Side of the Earth
7月	Presentation1 自己紹介	Presentation 1 将来の夢	Daily Scene 2 手紙 Unit 3 Fair Trade Event Daily Scene 3 さそう

	1 年	2 年	3 年
9 月	Unit 5 学校の文化祭 Daily Scene 1 体調をたずねる Unit 6 オーストラリアの兄	Let' s Read 1 The Carpenter' s Gift Unit 4 Homestay in the United States	Presentation 2 修学旅行 Let' s Read 1 A Mother' s Lullaby Unit 4 To Our Future Generations
10月	Daily Scene 2 電話の会話 Unit 7 ブラジルから来たサッカーコーチ Daily Scene 3 グリーティングカード	Daily Scene 4 電話の会話 Unit 5 Universal Design	Daily Scene 4 道案内 Unit 5 Living with Robots - For or Against
11月	Unit 8 イギリスの本 Daily Scene 4 ウェブサイト Unit 9 チャイナタウンへ行こう	Daily Scene 5 道案内 Unit 6 Rakugo in English Daily Scene 6 詩	Daily Scene 5 電話の会話  Unit 6 Striving for a Better World
12月	Daily Scene 5 道案内 Presentation 2 一日の生活	Presentation 2 町紹介	
1 月	Unit 10 あこがれのボストン Daily Scene 6 ちょっとお願い	Let' s Read 2 Try to Be the Only One	Daily Scene 6 レポート Presentation 3 中学校生活
2 月	Unit 11 思い出の一年 Daily Scene 7 絵はがき	Unit 7 The Movie Dolphin Tale Daily Scene 7 買い物	Let' s Read 2 The Green Door
3 月	Presentation 3 思い出の行事 Let' s Read The Restaurant with Many Orders	Presentation 3 好きなこと・もの Let' s Read 3 Cooking with the Sun	Let' s Read 3 An Artist in the Arctic  1・2・3年の復習